

ボディスーツ(ラバースーツ)を着た
女スパイが犯される話。

ir

基本CG10枚

差分17枚



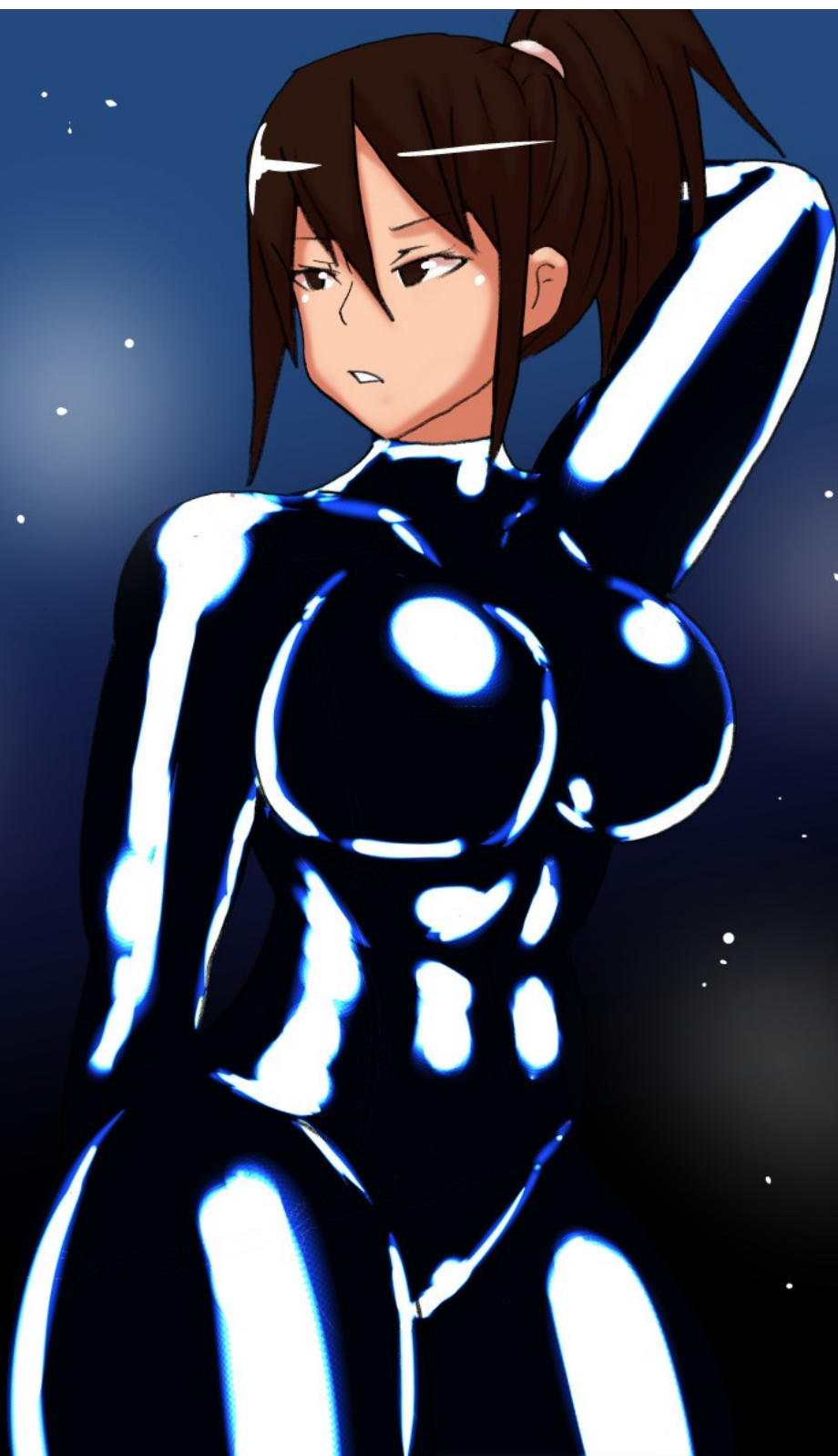
忍び込んだ先で捕らえられ、
ムチムチの体を犯される。

女スパイが敵に捕まって犯される話。

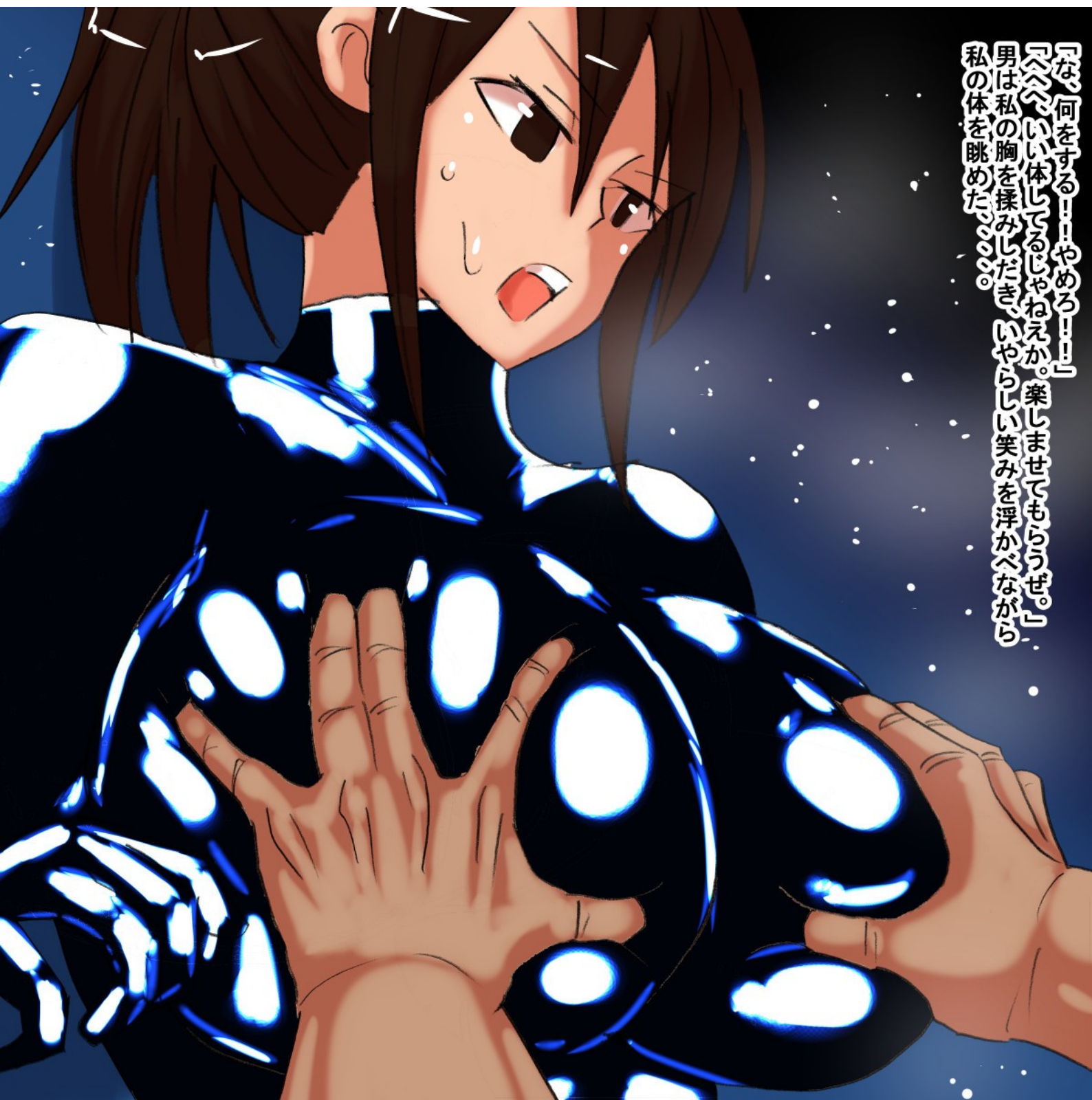
彼女はスパイを仕事にしている。もちろんいつも無事に成功するわけもなく、失敗した時は男によって弄ばれ、犯されてしまうこともある。



私はスパイ活動を生業にしている。今日もとある組織に乗り込み、情報を得ようとしているところだ。だが、私は組織の人間に見つかってしまい、捕らわれてしまった。。。。



「な、何をする……やめる……」
「へへ、いい体してるじゃねえか。楽しませてもらうぜ。」
男は私の胸を揉みしだき、いやらしい笑みを浮かべながら
私の体を眺めた。



「うるさい口だな。ちよつと黙ってる。」
「んっ！？んんん！っ！？」

男は私の体を抱きしめ、顔を近づけると、そのままキスをしてきた、……。何がなんだかわからないまま、私は男に口の中を犯されてしまった、……。





「ああ、いいぞ。もっと擦り付けろんだ。」

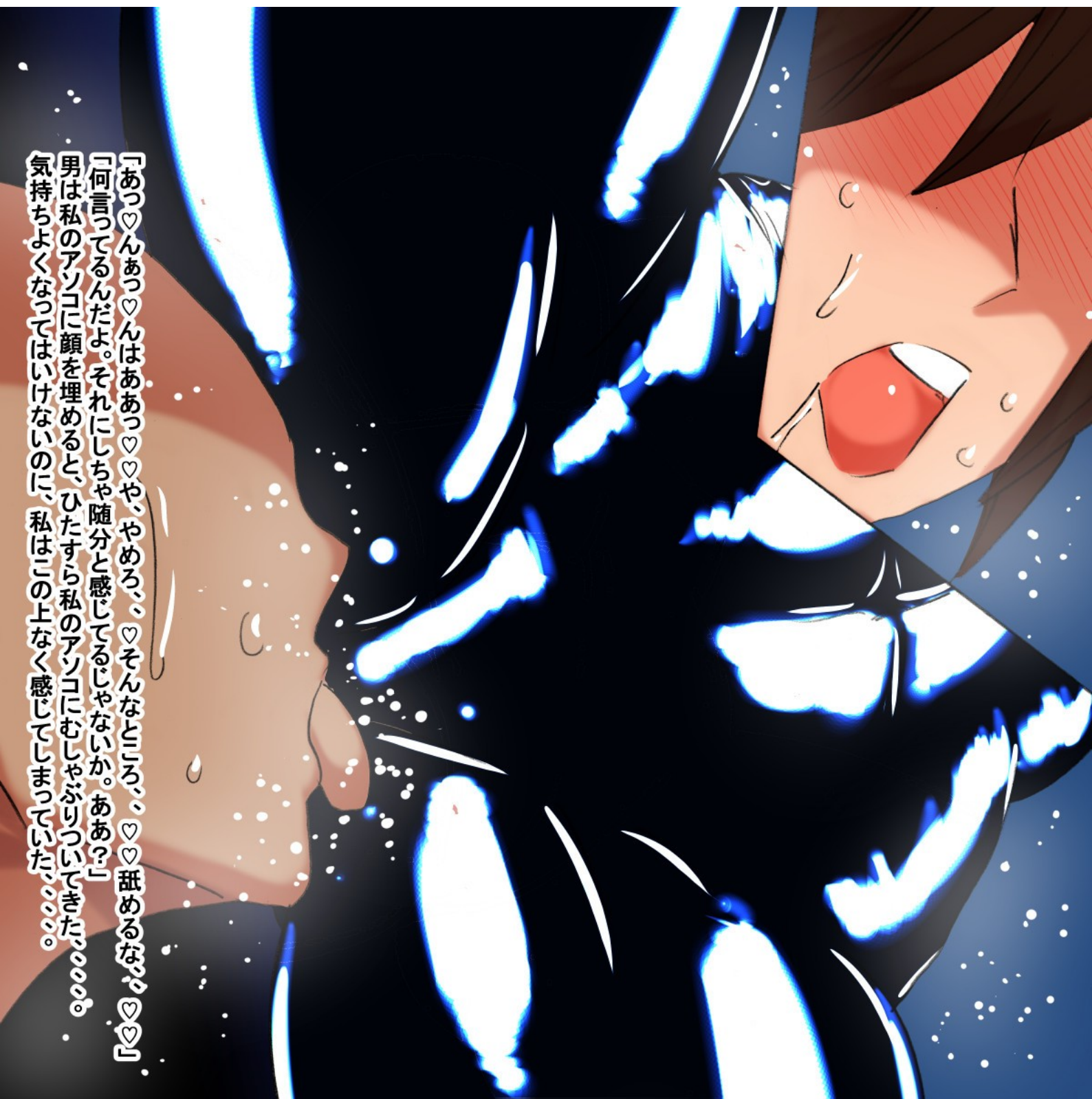
「うっ、うっ、うっ、なぜ私がこんな汚らしいものを、」

男は私の胸に自分のモノを挟みこむと、私の胸で

擦り付けるように命令してきた、

スーッと胸の感触がいいのか、男は喘ぎ声を頻繁にあげていた。





「あっ♡んあっ♡んはああっ♡♡や、やめろ、♡そんなところ、♡♡舐めるな♡♡♡」
「何言ってるんだよ。それにしちゃ随分と感じてるじゃないか。ああ？」
男は私のアソコに顔を埋めると、ひたすら私のアソコにむしゃぶりついてきた。○○○○。
気持ちよくなっではいけないのに、私はこの上なく感じてしまった。○○○○。



「んっはあああああああ♡♡♡」

「んっ♡んぶっ♡んぶっ♡んちゅっ♡んじゅっ♡んじゅっ♡」
「ああ、いいぞ、もつと奥まで啜え込むんだ。」
次に、男は私に男のモノを啜え込むよう命令してきた、……。
断ることができない私は、言われるがまま男のモノにむしゃぶりついた、……。

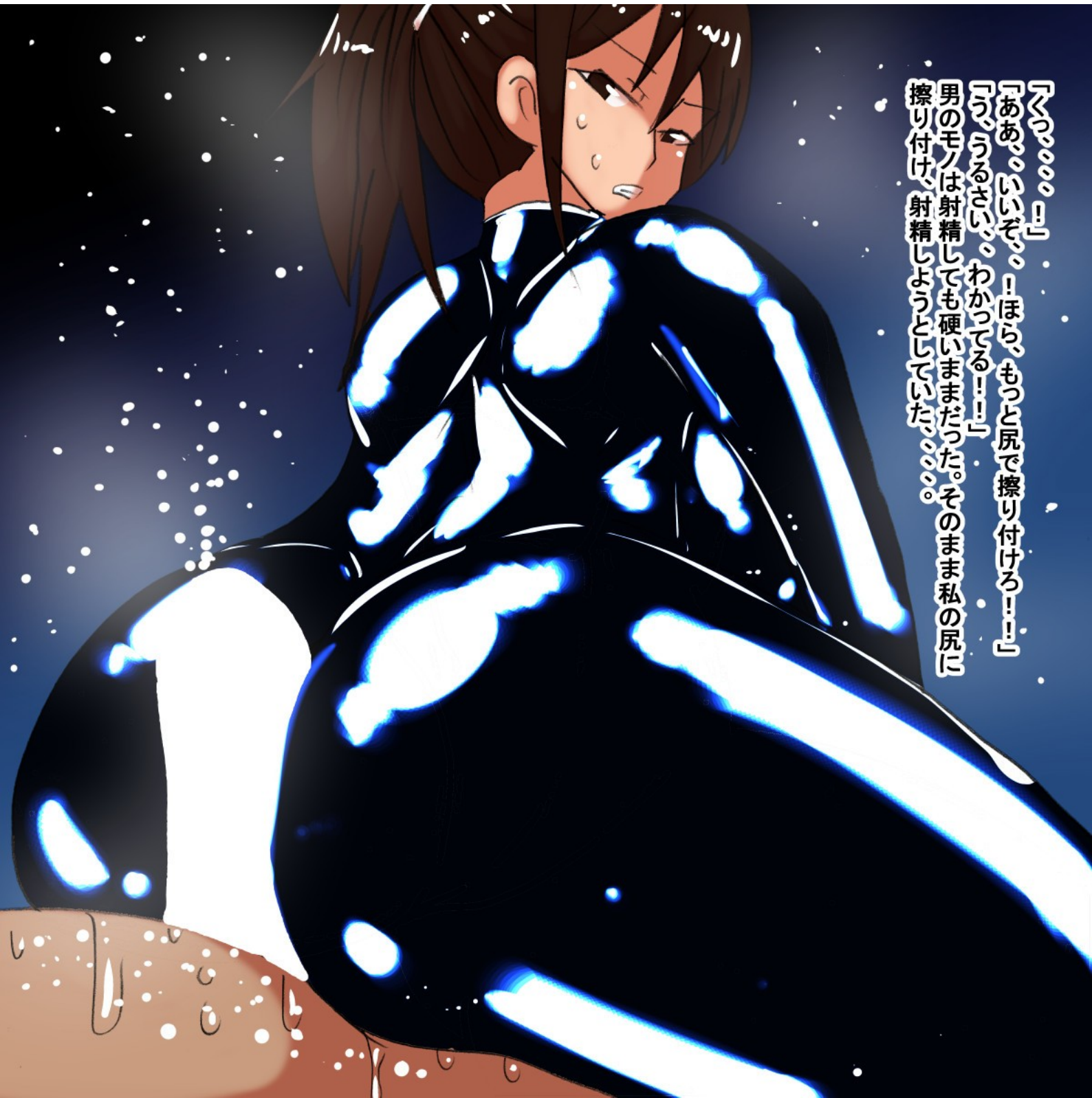




「♡♡♡♡♡」

「……」

「くっ……！」
「ああ、いいぞ、！ほら、もつと尻で擦り付けろ！！」
「う、うるさい、わかってる！！」
男のモノは射精しても硬いままだった。そのまま私の尻に擦り付け、射精しようとしていた、くっ……。





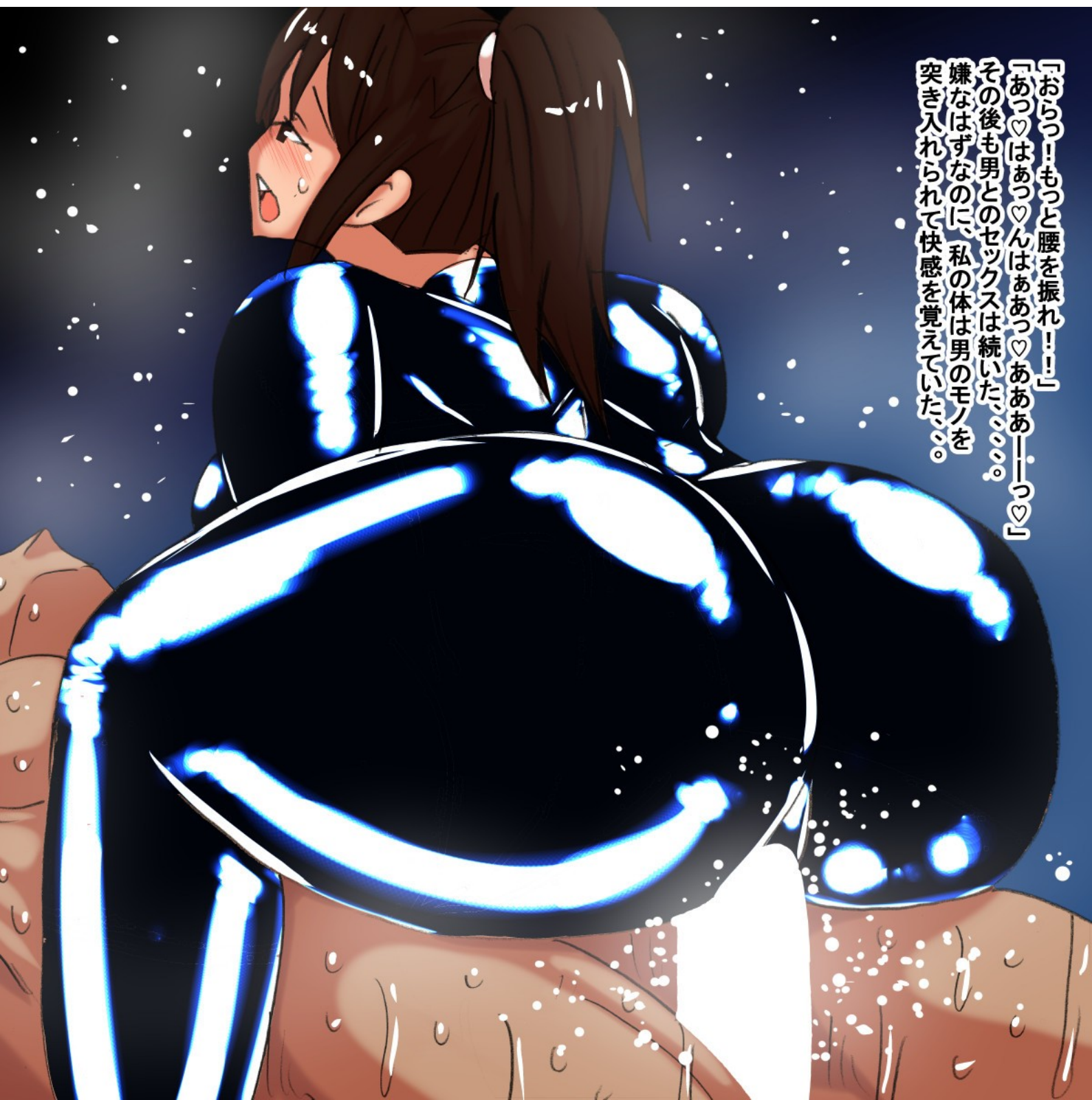
「あつ♡んはっ♡ああっ♡あああ——っ♡」
「うっ！ぐっ！——へいいい声で喘ぐじゃねえか！」
「あああんっ♡♡うう、うるさい、黙れ！」
男はそのまま私のアソコに自分のモノを
突き入れてきた。私はその感触に、
感じてしまい、声を出してしまった。





「あはあああああん♡♡♡」

「おらっ！もつと腰を振れ！！」
「あっ♡はあっ♡んはああっ♡あああ——っ♡」
その後も男とのセックスは続いた、
嫌なはずなのに、私の体は男のモノを
突き入れられて快感を覚えていた、。





「ああああああ——っ♡♡♡」

「はあ、♡はあ、♡」
男が出し尽くし、満足した
ことでようやく私は解放された。
このように、スパイ活動には常に
危険が伴っている。
だが、私はその危険な目にあうことを
心のどこかで楽しみにしていた。



この度は当作品をご購入くださり、ありがとうございます。

ボディスーツ(ラバースーツ)を着た女スパイの話です。

ボディスーツの光沢の表現が好きなのですが、なかなか難しいです。

もっと描いてみたいジャンルなので、研究しなくてはならないな、と感じます。

ボディスーツ(ラバースーツ)関連作品(公開予定含)

bm
bn
bo
ck
cl
cm
cu
cv
cw
dv
dw
dx
dy
iq
ir
is
it

当サークルホームページ等専用のページを開設致しました。

これらにおいても創作活動を行っておりますので、よろしければご確認ください。

Pixiv:<https://www.pixiv.net/users/46460147>

Ci-en:<https://ci-en.net/creator/4749>

Fantia:<https://fantia.jp/fanclubs/27877>

※当サークルの作品は全てフィクションです。実際に行うと法律によって処罰される可能性があります。

※当サークルの全作品の無断転載(購入されてない方が閲覧できるようにする)等の行為はご遠慮願います。ご協力の程、よろしくお願いします。

